

より賢く よりかっこよく ～ stand alone 凜として旅立つ ～

豊川市立東部中学校

3年 学年通信

No. 8

令和8年8月4日

志望校からの招待

7月18日(土)から45日間の夏休みがスタートし、早くも17日が経ちました。充実した日々を過ごすことができていますでしょうか。今年の夏休みは、これまでとは違い、多くの人にとって人生で初めて経験する「受験」の夏です。これまでは、住んでいる地域によって進学する小学校や中学校が決まっていた。しかし、高校入試では、自分で志望校を選び、その学校の定員の中に入る必要があります。そのため、受験に対して不安を感じたり、周りの人と比べて焦ったりすることもあるかもしれません。入試では定員が決まっているため、結果として競争になることも事実です。

しかし、私は、ある講演会で話を聞いたことをきっかけに、受験に対する考え方が少し変わりました。講演をされたのは、仙台育英高校野球部監督の須江航監督です(講演当時は、仙台育英秀光中学校軟式野球部の監督をされていました)。その講演のタイトルは「日本一からの招待」(現在は同名の書籍にもなっています)でした。須江監督は、「**日本一にふさわしいチームになることを目指して成長を積み重ねた先に、日本一から招待される**」という考え方を話されました。

私は、この考え方は受験にも通じるものがあると思っています。もちろん、受験では周りの人との競争を意識することもあります。しかし、そこから一歩進んで大切にしてほしいのは、**自分自身を高め続ける**ことです。大切なのは、「誰かに勝つために頑張る」ことだけではなく、「この学校で学ぶにふさわしい自分になること」です。「**今の自分は、志望校から招かれるにふさわしい学力や姿勢を身につけることができるだろうか**」そう自分自身に問いかけながら、一日一日の準備を進めていくことが大切です。では、志望校から招かれる人になるための準備とは何でしょうか。準備とは、未来の自分に必要な力を身につけるために、一日一日の積み重ねを通して、自分自身を高めていくことです。

まず、**今の自分を知る**ことです。自分の得意なことや課題を見つめ、自分自身の現在地を明確にすること。そして、**志望校で学ぶために必要な学力を身につける**ことです。自分に必要な学習に向き合い、学力を高めることで、自分の可能性を広げていくことができます。さらに、**日常生活の中で、周囲から信頼される行動や振る舞いを積み重ねる**ことも大切です。相手を思いやること、責任をもって行動すること、自分の役割を果たすことなど、

一人の人間として成長していくこと。その一つ一つが、志望校から招かれるにふさわしい自分をつくっていきます。志望校からの招待は、ある日突然届くものではありません。一日一日の努力を積み重ね、自分自身を高め続けた先に届くものです。この夏を、未来の自分に必要な力を身につける大切な時間にしてください。

受験を迎えるその時、それまで積み重ねてきた準備の先に、みなさん一人一人のもとへ「志望校からの招待」が届くことを願っています。

